

## 放課後等デイサービス自己評価表評価表【事業所用】

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	状 況
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			105m <sup>2</sup> の広いスペースを確保。個人別の机は全員対応。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○			基準に基づいた人員配置。内外の研修に加えてカンファレンスを実施することで、より具体的なノウハウを習得できるようにしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	○			バリアフリー対策は実施済。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			感染対策用の仕切り板、消毒液、全児童に机を提供している。広い室内で蜜はない。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	○			関係機関・計画相談含め、支援に必要なと思われる事へは、積極的に対応できた。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			児別の課題や目標を設定し、日々のカンファレンスや関係機関との連携で支援を行っている。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			児別の課題や目標を設定し、日々のカンファレンスや関係機関との連携で支援を行っている。
	4 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○			学校休業日は、社会性を身に付けさせるため、極力室外での活動を心掛けている。特性に応じたプログラムも検討し実施している。
	5 児童発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			感染対策の問題はあったが、近隣の児童施設との餅つきや公園では、障害のない子供たちとの交流の場を提供した。
保護者への説明等	1 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			面談、送迎時、LINE、電話など出来る限り対応できたと思う。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○			面談、送迎時、LINE、電話など出来る限り対応できたと思う。
	3 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか			○	コロナ問題や保護者の都合により、全児童宅に対して十分な対応ができたかは定かではない。
	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	○			特に問題を抱える児童においては、深く共有することができたと思う。
	5 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか			○	特に問題を抱える児童においては、深く共有することができたと思う。コロナ禍で面談が難しい保護者もいたので十分とは言えないと感じる。

保護者への説明等(続き)	6	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○		コロナ禍で十分に保護者間の連携が出来たかは定かではない。音楽フェスティバルでは、保護者間の連携ができたと考えられる。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		計画相談、学校と連携し対応を行った。
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		○		面談、送迎時、LINE、電話など出来る限り対応できたと思う。
	9	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか		○		LINE、持ち帰りなど活動内容に関しては、時間が許す限り取り組んできた。謝辞が多かった。
	10	個人情報の取扱いに十分注意されているか		○		問題ない。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		○		一部保護者から不十分であるとの意見があった。概ね、問題はないとの評価を頂いている。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		○		実施した。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか		○		「寺子屋に行くために学校に通う」と言う不登校児が学校に通えるようになった。また、寺子屋を嫌う児童はいない。また、行かされていると感じる児童もいない。
	2	事業所の支援に満足しているか		○		感謝の言葉を多く頂いている。会話ができるようになった。薬が飲めるようになった。ストレスが溜まらなくなったなど。